



## 2023年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年9月12日

上場会社名 神島化学工業株式会社  
コード番号 4026 URL <https://www.konoshima.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長  
四半期報告書提出予定日 2022年9月12日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
(氏名) 池田 和夫  
(氏名) 高橋 誠  
TEL 06-6110-1133

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年4月期第1四半期の業績(2022年5月1日～2022年7月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第1四半期	5,619	11.6	462	27.6	460	26.9	219	43.5
2022年4月期第1四半期	5,036	6.8	637	90.5	629	91.8	389	71.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第1四半期	24.37	24.24
2022年4月期第1四半期	42.84	42.54

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第1四半期	26,041	9,397	35.9
2022年4月期	24,697	9,365	37.7

(参考)自己資本 2023年4月期第1四半期 9,338百万円 2022年4月期 9,306百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期		18.00		18.00	36.00
2023年4月期					
2023年4月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年4月期の業績予想(2022年5月1日～2023年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,600	11.8	1,050	8.4	1,050	9.2	700	7.1	77.37
通期	23,800	9.2	2,200	5.9	2,200	5.5	1,500	9.8	165.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年4月期1Q	9,240,000 株	2022年4月期	9,240,000 株
期末自己株式数	2023年4月期1Q	213,425 株	2022年4月期	213,369 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年4月期1Q	9,026,617 株	2022年4月期1Q	9,092,733 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染症対策により緩やかな持ち直しが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、原材料やエネルギー価格の高騰、急激な円安による為替相場の変動、感染再拡大などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場において新設住宅着工戸数は、貸家は増加しましたが、持家が減少し、全体としては218千戸と前期比1.3%の減少となりました。

このような状況の中、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は5,619百万円と前年同四半期比582百万円(11.6%)の増収となりました。営業利益は462百万円と前年同四半期比175百万円(27.6%)の減益、経常利益は460百万円と同169百万円(26.9%)の減益、四半期純利益は219百万円と同169百万円(43.5%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①建材事業

住宅分野は、当社の強みである「基材の強み」に「塗装技術」を掛け合わせた高付加価値製品の高級軒天ボードの販売量が大幅に増加しました。

非住宅分野は、都市型高層ビル用の耐火パネルが好調に推移しました。

このような結果、売上高は3,350百万円と前年同四半期比235百万円(7.6%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は、増収効果や各種コスト削減による収益改善がありましたが、燃料費や原材料価格の高騰などにより219百万円と同98百万円(31.0%)の減益となりました。

#### ②化成品事業

マグネシウムは、国内の酸化マグネシウムや海外の難燃水酸化マグネシウムの販売量が増加しました。前期末に完成した酸化マグネシウム顆粒設備は稼働しております。

セラミックスは、蛍光体製品を中心に堅調に推移しました。前期に新工場が完成し、順次設備が稼働開始しております。

このような結果、売上高は2,268百万円と前年同四半期比346百万円(18.1%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は、燃料費や原材料価格の高騰に対して、売価への転嫁を進めましたが、吸収するには至らず、378百万円と同82百万円(18.0%)の減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は26,041百万円となり、前事業年度末(以下、「前年度」という。)に比べ1,344百万円増加いたしました。主な増加要因は、有形固定資産が1,214百万円、商品及び製品が299百万円増加したことによるものであります。

負債は16,643百万円と前年度に比べ1,312百万円増加いたしました。主な増加要因は、短期借入金が1,950百万円が増加したことによるものであります。

純資産は9,397百万円と前年度に比べ32百万円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が57百万円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月期の業績につきましては、2022年6月10日の決算発表時に公表いたしました数値から、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,871	1,765
受取手形及び売掛金	3,548	3,475
電子記録債権	1,070	1,091
商品及び製品	1,995	2,294
仕掛品	826	883
原材料及び貯蔵品	908	951
その他	876	899
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,096	11,360
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,318	4,407
機械及び装置（純額）	3,789	3,693
土地	1,381	1,381
建設仮勘定	2,135	3,370
その他（純額）	641	628
有形固定資産合計	12,266	13,480
無形固定資産	24	23
投資その他の資産		
投資有価証券	343	296
繰延税金資産	779	705
その他	187	174
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,309	1,176
固定資産合計	13,600	14,681
資産合計	24,697	26,041

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,108	2,167
電子記録債務	1,420	1,454
短期借入金	2,800	4,750
1年内返済予定の長期借入金	599	599
未払法人税等	409	14
賞与引当金	354	158
製品保証引当金	253	220
設備関係支払手形	19	26
設備関係電子記録債務	1,214	1,306
その他	2,009	2,035
流動負債合計	11,188	12,733
固定負債		
長期借入金	1,441	1,253
退職給付引当金	1,875	1,892
その他	825	764
固定負債合計	4,142	3,910
負債合計	15,331	16,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,081	1,081
利益剰余金	7,063	7,121
自己株式	△252	△252
株主資本合計	9,212	9,269
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	94	68
評価・換算差額等合計	94	68
新株予約権	59	59
純資産合計	9,365	9,397
負債純資産合計	24,697	26,041

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年5月1日 至2021年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自2022年5月1日 至2022年7月31日)
売上高	5,036	5,619
売上原価	3,302	4,026
売上総利益	1,733	1,592
販売費及び一般管理費	1,095	1,130
営業利益	637	462
営業外収益		
受取配当金	6	9
物品売却益	1	3
その他	2	3
営業外収益合計	10	16
営業外費用		
支払利息	8	14
その他	11	3
営業外費用合計	19	18
経常利益	629	460
特別損失		
工場構築費用	81	76
訴訟関連損失	—	40
固定資産除却損	1	20
投資有価証券売却損	—	1
特別損失合計	82	138
税引前四半期純利益	546	321
法人税、住民税及び事業税	73	16
法人税等調整額	84	84
法人税等合計	157	101
四半期純利益	389	219

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2021年5月1日 至 2021年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,114	1,921	5,036	—	5,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,114	1,921	5,036	—	5,036
セグメント利益	318	460	779	△141	637

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△141百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△141百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,350	2,268	5,619	—	5,619
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,350	2,268	5,619	—	5,619
セグメント利益	219	378	597	△135	462

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△135百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△135百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。